



日本共産党

北区議会議員

のの山けん区政レポート

http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.57 2008.10.2

発行 のの山けん事務所
〒115-0044 赤羽南1-17-6
ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

10月5日は 全国青年大集会へ

「使い捨て」「モノ扱い」やめよ一雇用のルール確立を

10月5日正午より、明治公園で全国青年大集会が開かれます。

歴代自民・公明政権のもと、「構造改革」による規制緩和で派遣労働が全国に蔓延し、日雇い派遣労働など不安定雇用の広がりや社会的な問題になっています。いま、働く3人に1人、青年や女性は2人に1人がパート、アルバイト、派遣、期間社員など非正規労働者です。

集会では、全国から青年が集結、「使い捨て」や「モノ扱い」の働かせ方をやめ、ともに働ける雇用のルール確立を、と求めます。

日本共産党の志位和夫委員長が連帯のあいさつをおこないます。



日本共産党
志位委員長が
あいさつ

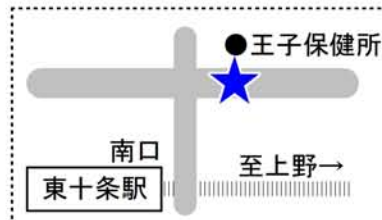
10:30AM

赤羽・洋服の青山前



10:45AM

東十条・王子保健所前



11:00AM

王子・三角公園前



北区から会場(明治公園)へ直通バス



袋田の滝 志茂・赤羽後援会が 日帰りバス旅行

日本共産党志茂・赤羽後援会は9月28日、茨城県・袋田の滝へ日帰りバス旅行をおこないました。バス2台、68名の参加者は、これまでより50メートル高くなった新しい観瀑台(9月13日オープン)からの、迫力ある滝の流れを満喫しました。帰路立ち寄った那珂湊おさかな市場では、市場より格安の新鮮な魚を、両手にいっぱい買い込む参加者の姿もみられました。

日本共産党パンフレット

日本共産党がめざす新しい日本の姿を明らかに



日本共産党パンフレットの内容は…

- こんな社会、こんな政治でいいのでしょうか
- 国民の暮らし、権利をまもる「ルールある経済社会」を
- 「福祉の心」を政治にとりもどす
- 安全な食料を日本の大地から
- アメリカいいなりやめ、独立・中立の日本をつくる などなど

日本共産党の新しいパンフレット『私たちはこんな新しい日本をめざしています』(横B6判・カラー・十六ページ)ができました。パンフは、どうしたら、まともな政治になるのか、という国民の思い、願いかみあって、日本共産党の改革提案、国民と力をあわせて政治を動かす党の実績をわかりやすく紹介しています。

選挙が近づくと、どの党も国民の要求にこたえるよ
うな公約をかかげますが、肝心なのはその党がどんな行動をとってきたか、です。パンフは、派遣労働の原則自由化、後期高齢者医療制度の原型が導入された「決定的場面」での各党の態度を明記。どの党がのびることが、国民の願いの実現にとって一番の力になるかを判断できる絶好の材料を提供しています。日本共産党では、全戸にパンフを届けます。ぜひ、ご一読ください。

くらし投げ捨てる政治は許さない

池内さおり衆院12区青年運動部長が赤羽で訴え



街頭で訴える池内さおり衆院東京12区青年運動部長と、のの山けん区議 =9月27日、赤羽駅東口

麻生新政権の発足をうけた9月27日、日本共産党の池内さおり衆院12区青年運動部長と、のの山けん区議は、赤羽駅東口など4カ所で街頭宣伝をおこないました。

池内氏は「自民・公明政権は、高齢者を切り捨て、若者は使い捨て、あげくの果てに政権は投げ捨て。無責任の極みです。今度の麻生政権も国民に痛みを押しつけてきた『構造改革』にしがみつ়く姿勢はまったく変わりません。くらし投げ捨てる政治は許しません」と訴え、来るべき解散・総選挙での日本共産党の躍進を訴えました。